



(仮) 上伏古地区地域集会施設整備計画 報告書

令和 3 年 12 月 北海道大学小澤丈夫研究室 + 東京工業大学安田幸一研究室

■目次
01 - 04 計画概要
05 - 10 WS01
11 - 20 WS02
21 - 26 WS03
27 - 34 WS04

計画の経緯

上伏古地区の地域集会施設の再整備は、平成 29 年度に、提出された要望書及び地域住民との協議を経て、旧小学校用地と一体となっている旧保育所施設で行うことが令和 2 年 2 月に決定した。

規模については、旧保育所を増築し地域集会施設を 326.44 m²、別に物置を 34.63 m²とすることが令和 2 年 9 月 7 日に決定した。

その後、事業に進め方についての庁内での検討を経て、地域住民の具体的な意見を施設計画により反映させることができるように、意見交換の期間を設けるとともに、北海道大学と連携することで多角的に検討するため、令和 3 年度を基本計画*¹及び事業者選定、設計*²の開始の年度、令和 4 年度を設計・施工の完了および供用開始するスケジュールとすることで実行計画が策定された。

*1 基本計画：再整備にあたり施設の考え方、設計をしていく上で必要な条件を計画としてまとめるもの。

*2 設計：基本設計（間取りの決定、構造計画、必要な設備の決定等）
実施設計（工事を施工するための図書作成）

スケジュール

2021	02	施設の再整備位置の決定		
	09	施設の再整備規模の決定		
	11	実行計画の策定		
	01			
	02	下調査		
	03			
	04		ワークショップ 01	04.01-02
			ワークショップ 02	06.21
		基本計画策定	ワークショップ 03	07.12
	10		ワークショップ 04	10.05
2022	02	事業者公募（設計・施工）		
	03			
		設計（基本・実施）		
	10			
	11	着工		

メンバー

北海道大学小澤丈夫研究室：小澤丈夫（教授）、内藤誠人（助教）、野田暁布（M2）、磯和耕太郎（M1）、本田隼大（M1）、後藤卓斗（B4）

東京工業大学安田幸一研究室：安田幸一（教授）、平輝（助教）、小林由佳（M2）、曾根翼（M1）、加藤雄介（B4）

計画建物（上伏古保育所）現況写真



南側外観



午睡室



廊下



準備室



保育室



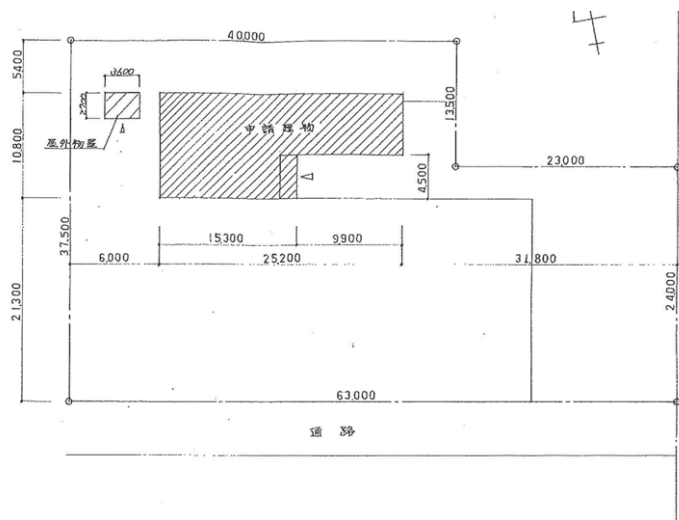
保育室



玄関

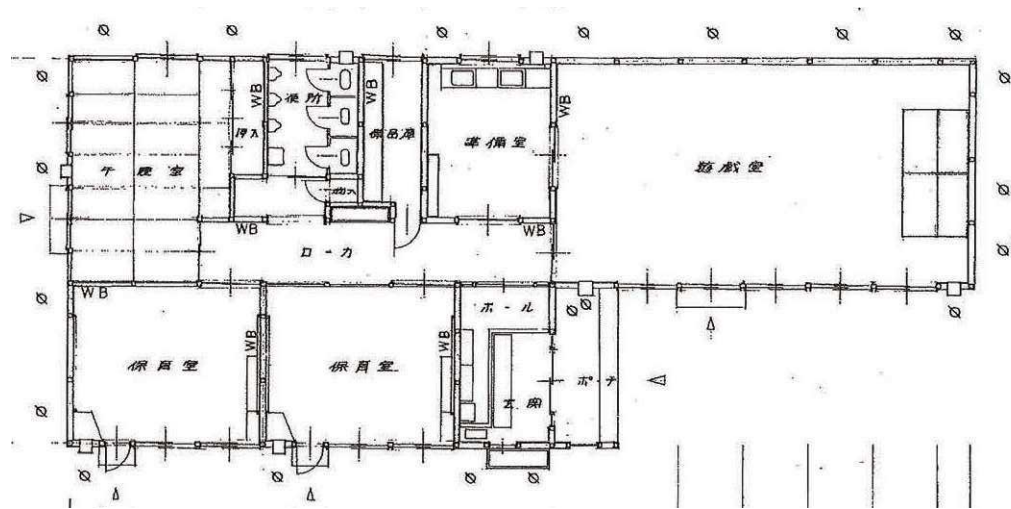


遊戯室



配置图

町田伏木古九梅庭路



平面图

現・地域集会施設（上伏古生活改善センター）現況写真



東側外観



廊下



集会室



集会室



和室



災害備蓄庫



調理室



倉庫

WS01の概要

■芽室WS01概要

目的：「新しい集会施設に対する住民意見の把握」

日時：4月1日(木)

①14:00-16:30 婦人部、若妻会

4月2日(金)

②09:30-12:00 老人会、青年会、社協

参加者：地区住民70名

北海道大学：小澤、内藤、佐藤、野田、本田、高橋

芽室町役場：齋藤

内容：ポストイットによる住民意見の把握

■タイムテーブル

○出席者紹介・全体説明（15分）

○グループ分け（5分）

・1グループ10人程度

・グループはなるべく同じ団体メンバーで構成する。

○グループ名・発表者・書記を含め全員自己紹介（15分）

○個人意見を発表（10分）

・付箋に新しい施設で何をしたいか書き出す。

○グループ内で意見発表（20分）

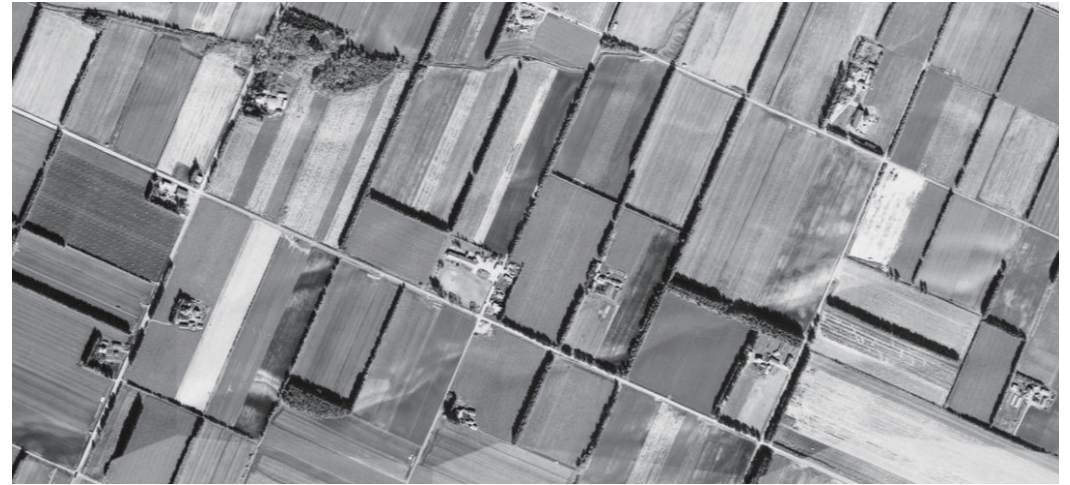
・順番に一枚ずつ模造紙に付箋を全員に見えるように貼り付け、同じ意見だと感じたら、順番に関わらず、その意見の近くに貼り付ける。

○意見の整理（5分）

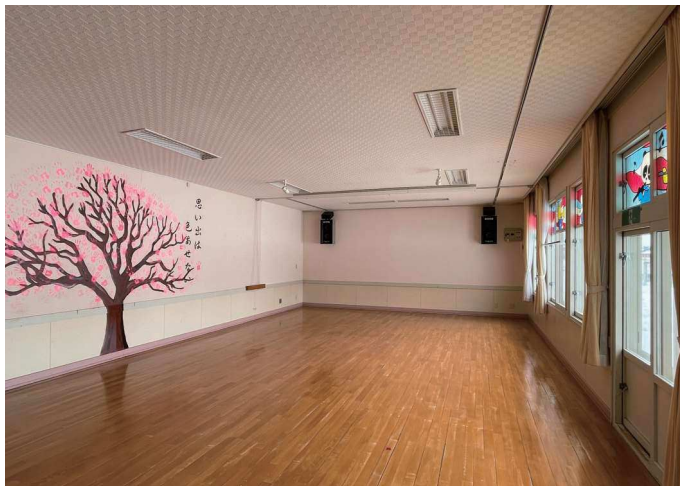
・付箋の内容をみて似ているものをまとめる。

○必要な機能、物の意見を出す（15分）

・付箋の事柄を行うために必要な機能を別の色の付箋に書き出す。



WS01に向けての調査/敷地調査



WS 前に既存建物である旧上伏古保育所や先行事例である北伏古地域集会施設の現場見学を行いました。

WS02の概要

■芽室WS02概要

目的：「コンセプト案に対する住民意見の把握」

日時：6月21日（月）

①13:30-15:30 婦人部、若妻会

②16:00-18:00 老人会、青年部

③18:30-20:30 社協、農事組合

参加者：地区住民70名

北海道大学：小澤、内藤、磯和、本田、後藤

東京工業大学：平、小林

芽室町役場：斎藤、金沢

内容：前回WSの成果報告

(KJ法の結果と建築コンセプトの説明とヒアリング)

■タイムテーブル

○はじめに（10分）

・趣旨説明

○前回WSの成果報告（10分）

・KJ法の結論

・必要諸室の抽出、諸室に求める要望

○プレゼンテーション（2.5分×6案=15分）

・設計条件の整理

・6案プレゼンテーション

○質疑応答、自由観覧（10分）

○ヒアリング（60分）

・ホールについて

・調理場について

・部屋の数について

・物置について

・外部と内部との接続

・外構について

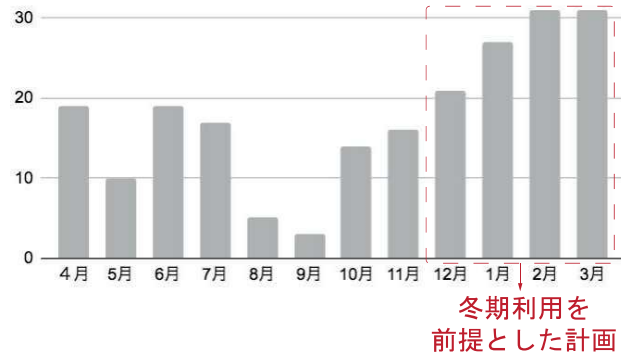
・フリーディスカッション

○まとめ（10分）

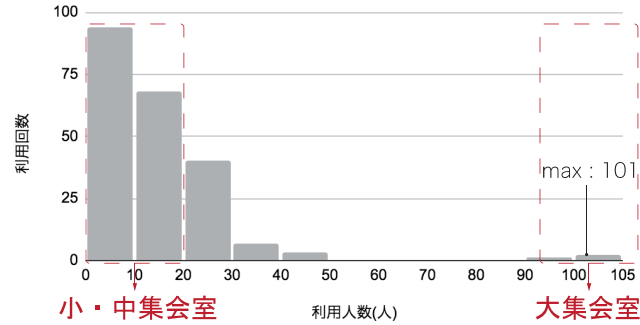


WS02へ向けての調査/利用状況からみる、必要な会議室の大きさと数の把握

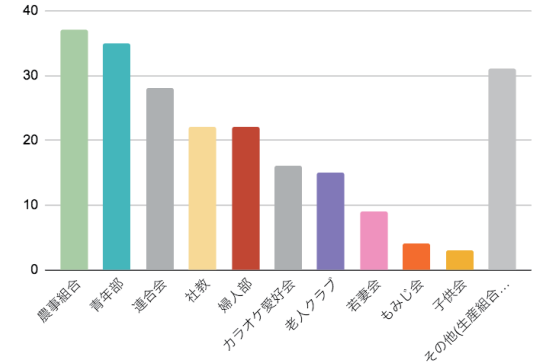
■ 月ごとの利用回数



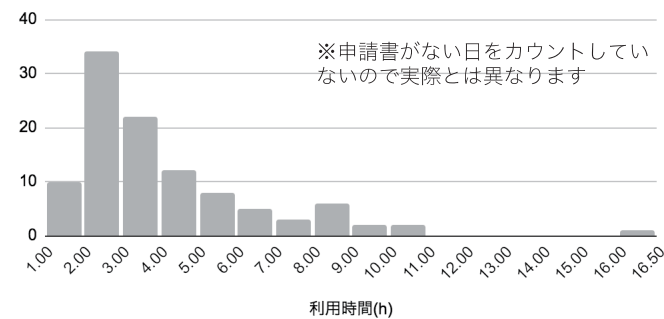
■ 一回あたりの利用人数



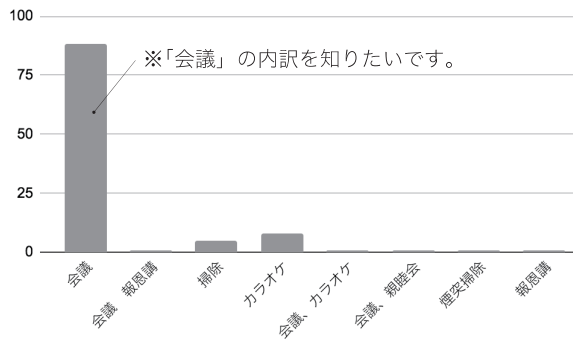
■ 利用団体



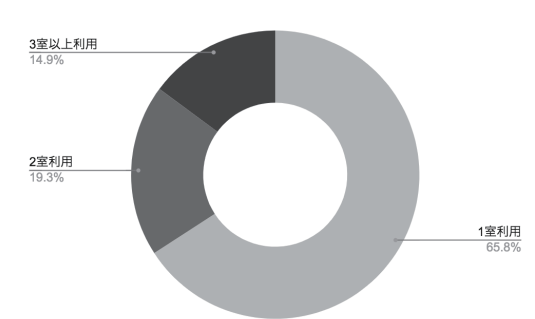
■ 一回あたりの利用時間



■ 一回あたりの利用時間

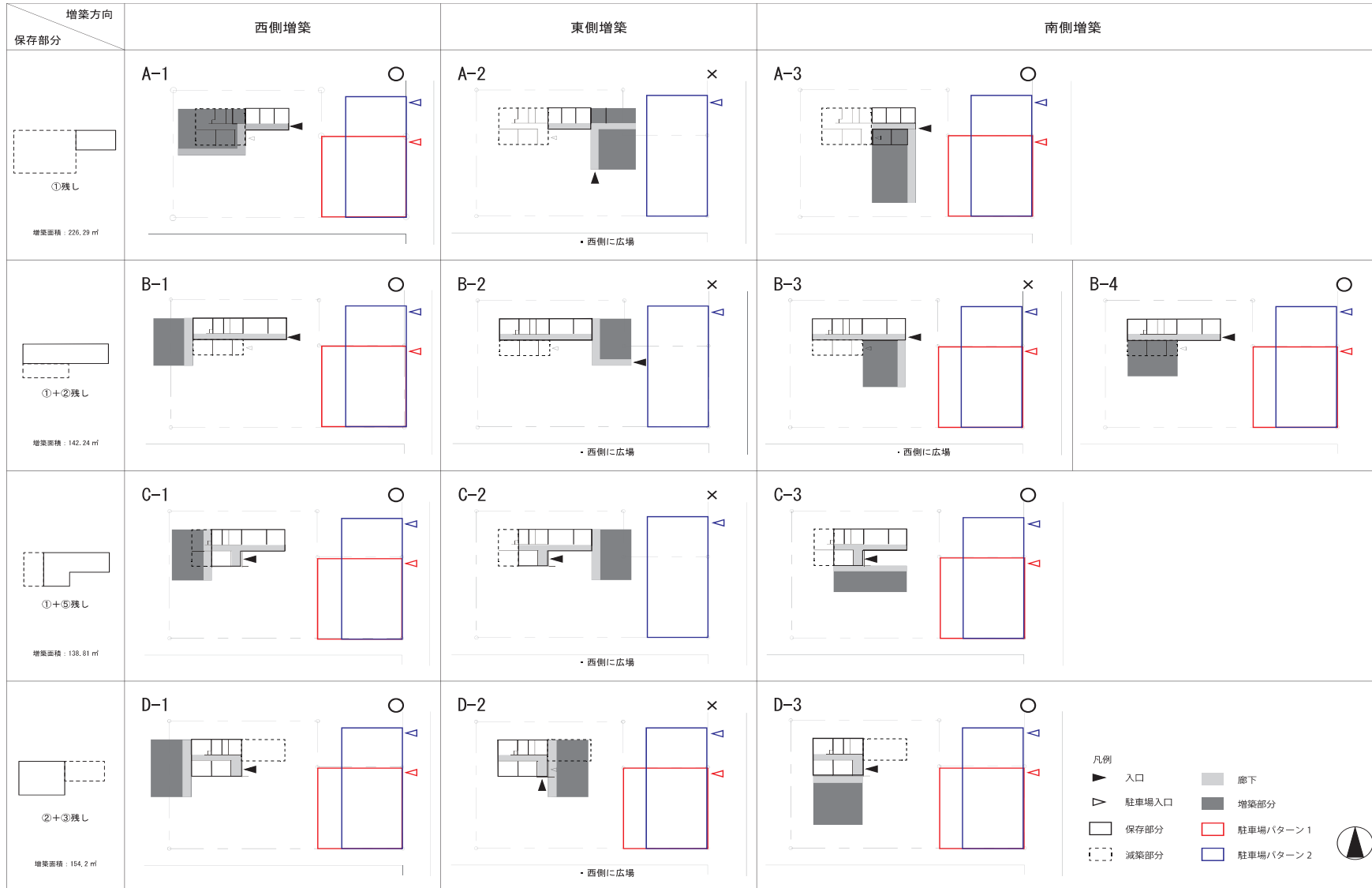


■ 一回あたりの利用室数



集会室の大きさと数を把握するために、現在集会施設として利用されている上伏古地区生活改善センターの利用状況について調査しました。その結果、冬期（12月から3月）にかけての利用頻度が高く、一回あたりの利用人数は0～20人程度が多いことが分かりました。これより、大・中・小集会室を設けることとしました。

WS02へ向けての調査/増築部の配置で考えられるパターンの抽出



既存躯体を一部残すことを前提に、東、西、南、北側にそれぞれ増築するパターンを抽出しました。

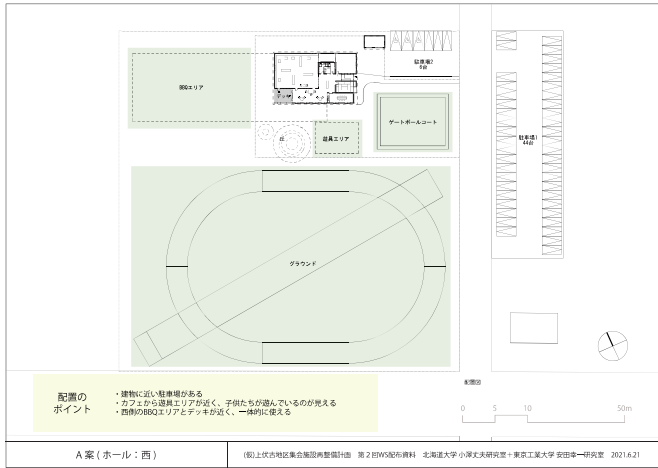
その結果、北側増築は敷地境界線を大きく超えてしまう点、東側増築は西側に広場ができ、西側からの強風がふく、本敷地には向いていない点から、西側と南側増築を検討の軸におきした。

WS02の提出物/6つのコンセプト案の比較表

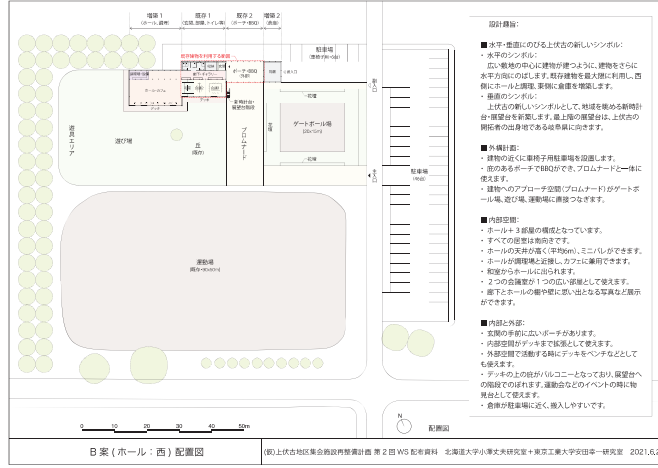
No	質問項目	内容	A案(小幡管根)	B案(平)	C案(本田)	D案(徳和)	E案(加藤)	F案(内藤)	(参考)北伏古	(参考)生活改善センター
	平面	ホールの位置 平床面 (換した部分は赤)								
		換した部分	南側外壁、遊戯室、待合台	青組み	遊戯室	青組み	遊戯室	遊戯室外壁		
1	ホールの使い方 質問: ・天井は高い方がいいか メリット	ダイアグラム (プロポーション、高さ)								
			・音向は資料室として、たまり場に ・エントランスホールやカフェへとはみ出して 活動することもできる	・南に面して明るい ・天井が高く(平均6m)ミニバレーができる ・隣接場に近くカフェに兼用できる ・デッキまで拡張利用可能	・天井が高くミニバレーができる ・ほぼ正方形の形をしているため幅広い室内ス ポーツに対応可能	土間空間、ブックカフェから直接ホールが見え 子供たちが遊んでいるところを見守ることが できる。	八角形の側面が外部空間と内部遊室どちらにも 開いている。また、一部の壁は車道側から広場 やホールを穿る。	南側グラウンドに接し、かつ、東西南の3方向 に開くことで一体的に利用可能 →会議、観覧席、BBQ、お祭り、子供の遊び場、 運動会の観客席、カラオケなど	2.8m(フラット)	2.7m(フラット)
2	隣接室 質問: ・広さはどのくらい必 要? ・どこに近い方がいい? メリット	ダイアグラム (広さ、位置、アクセス)								
			・広い ・カフェラウンジと一体化できる ・ホールに近い ・外にすぐ出られる	・ホールと一体化できるオープンキッチン ・外部のポーチでもBBQ用の置片調理場がある	・調理場はBBQスペースに接して配置し一体的な 利用を可能にする	ブックカフェ・土間空間と一体的に使い、カ フェに使える。	会議室などからは独立しているが、カウンター キッチンでホール・ウッドデッキと一体的に使 える。	・会議室や和室と一体利用が可能 ・ホールと隣接 ・子供の遊び場が見える		
3	部屋の数 (会議室・和室etc) ・同時に何団体を使いた い? メリット	部屋 (会議室、事務室、トイレ、倉庫以外) 会議室の配置							集会議室×3	洋室×3 和室×2
			ホール×1 洋室×2 和室×2 カフェラウンジ×1 (洋室代わりに使える)	ホール×1 会議室×2 和室×1	ホール×1 会議室×2 和室×1	ホール×1 会議室×1 和室×1 ブックカフェ×1	ホール×1 会議室×1 和室×1			
			・同時に4団体が使える ・他の部屋と隣り合わない裏の部屋でカラオ ケができる ・広い部屋には、充実した収納がある	・同時に4団体が使える ・2つの会議室が1つの広い部屋として使える ・宿泊用部屋としても使える	・同時に4団体が使える ・活動の大きさに合わせて大中小様々な大 さの部屋を選べる	土間空間を開くように遊室を配置すること で、強かな土間を作っている	会議室や和室はアプローチのしやすさや使い やすさ重視。近くに給湯室はある。調理室は BBQやイベントなどを楽しまれるように配置。	使い方が異なる2つの異なる会議室 (隣り合った会議室と調理室や和室と一体的な 利用可能な会議室)		
4	外構計画 メリット	配置図								
			・室内から見守れる遊び場 ・風を気にせず夏イベントができる	・広のあもポーチでBBQができる ・ポーチとプロムナードが一体化できる ・裏いところから眺望できるバルコニーと原 装舞台を設置	・南側の広のある広場でBBQができる ・南側の室内から見守ることができる遊び場 調理室に近い	デッキがある 調理室に近い	調理室に近い アプローチに広	子供の遊び場と大人の遊び場(ゲートボール 場、パークゴルフ場、お花畑)が建物によって 明確に分離		
5	倉庫・物置 メリット	ダイアグラム								
			・【内】ホールとの出し入れ ・【内】倉庫との出し入れ ・【外】駐車場やコートに近い	・大きい倉庫は駐車場に近く、搬入しやすい ・内部にも収納用部屋と棚を設置 ・収納の一部は地域の恵いになる展示とし て活用する	・南側の外と中からそれぞれアクセスできる	・南側の外と中それぞれからアクセスできる	ホールに接続し、モノの出し入れがしやすい ため、ホール内のレイアウトを自由に变化	ホールに隣接する専用物品庫 会議室と一体的に利用する資料収蔵庫 外からアプローチできる災害備蓄庫		
6	外部と内部のつながり メリット	ダイアグラム								
			・ホール以外の全ての部屋が南向き ・テラスで外とつながる	・玄関の手前に広いポーチ ・ホールと全ての部屋が南向き ・内部空間がデッキまで拡張利用可能	・南側の広のある広場でBBQができる ・テラスで外とつながる	テラスが南側で明るい	4.5度回転軸からずれることで真夏の日差し が差し込む。縁側やテラスなど夏場は一体的 に使えるような構。	・半外部空間として3方向に開くホール ・外部から直接アプローチできるトイレ・ シャワー ・東側のキッチンと子供の遊び場の視覚的連 結 ・西側の和室と大人の遊び場の視覚的連続		

WS02の提出物/6つのコンセプト案の図面・パース・模型

A案/たまりの場としてのホールを中心とした計画



B案/廊下を有効活用した計画



C案/ホールの高さを大きくとった計画

